

報道関係者各位

2022年5月24日

株式会社トキワ

## 「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

国内カラー化粧品受託製造市場において10年連続で圧倒的なNO1シェアを獲得している株式会社トキワ（代表取締役社長 金井博之、本社東京都北区王子）は、持続的な事業成長と社会貢献の両立を実現する為、様々な活動を行っておりますがこの度、環境情報開示に関する国際的な非営利団体 CDP が公表した「CDP 気候変動レポート 2021」において「B スコア」に認定されました。また、「サプライヤー・エンゲージメント評価」（Supplier Engagement Rating Introduction、以下 SER）において、最高評価「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

CDP（本部：ロンドン）は、2000年に世界の機関投資家が連携し設立した、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体です。「気候変動」「水セキュリティ（水資源保護）」「フォレスト（森林保全）」に関する質問票への回答をもとに調査を実施し、各企業の環境情報開示の透明性や経営の関与等を評価した結果をスコア付けして公表しています。2021年度は、過去最高となる約13,000社の企業がCDPを通じて環境情報の開示を行い、気候変動に対する目標設定や事業戦略、リスク・機会の認識、温室効果ガスの排出量の開示などの観点で企業の取り組みが8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価されています。

また、SERは、企業が気候変動課題に対してどのようにサプライヤーと協働しているかを評価するもので、CDP 気候変動質問書の「ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量算定、サプライヤー・エンゲージメント」の4つの分野への回答、および CDP 気候変動質問書全体のスコアに基づき評価されるものです。CDP は、サプライヤー・エンゲージメント評価において最高評価を獲得した企業を「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」として表彰しており、2021年度は CDP 質問書に回答した全世界企業の上位 8%にあたる 500 社超、日本企業では 105 社が選定されました。トキワは、グループ全体で温室効果ガス(GHG)排出量削減に積極的に取り組んでおり、その取り組みが評価され

今回の選定となりました。

トキワは今後も、気候変動対応に取り組み、また経営に SDGs, ESG の視点を導入することにより、事業の拡大と、よりよい製品の提供をめざし、豊かな共生世界の実現に向けて取り組んでまいります。



#### ■ 株式会社トキワについて

「世界中に美と感動と喜びをお届けする」という使命のもと、国内外の化粧品業界をリードする大手メーカーの各ブランド向けに「競争力と独創性に富んだ製品」を開発・製造しています。「化粧品容器」だけでなく「化粧品内容物」も研究開発から製造までを一貫して手がけ、国内ではカラーコスメ受託製造市場で約25%を保有し NO1. のポジションを獲得しており、世界でも 5 本の指に入る規模となっております。

また、トキワは、持続的な事業成長とサステナビリティの追求（MAXIMUM SAFETY, MINIMUM IMPACT）の両立を実現する為に、2020 年から、世界的にも例を見ない CHIEF CLEAN BEAUTY OFFICER（クリーンビューティー推進責任者）をおき、本格的な ESG 経営に取り組んでいます。

コーポレートサイト：<https://www.tokiwa-corp.com/>